

島根原子力発電所 2号炉 高経年化技術評価質問事項に対する回答一覧表

【共通】

通し 番号	事象	No	評価書分類	機種分類	審査ガイド 項目	No	ページ	質問事項	回答内容	図書／ページ番号
1	共通		本冊	長期施設管理 方針				<p>長期施設管理方針には、低サイクル疲労評価で使用する実績過度回数確認の継続的実施や、原子炉圧力容器の中性脆化評価に用いる監視試験の実施が記載されていない。</p> <p>長期施設管理方針の内容は社長が定める保守管理方針に反映するものであるため、長期施設管理方針への記載は極めて重要である。事業者の考え方を説明すること</p>	<p>以下に示す項目は、長期施設管理方針として策定し、具体的な実施内容、実施方法および実施時期を明確化する（補正時に高経年化技術評価書（本冊、別冊）に反映する。）。</p> <p>①原子炉圧力容器等の疲労割れについては、実績過度回数確認を継続的に実施し、運転開始後60年時点の推定過度回数を上回らないことを確認する。</p> <p>②原子炉圧力容器の中性子照射脆化については、今後の原子炉運転サイクルおよび中性子照射量を勘案して、第3回監視試験の実施計画を策定する。</p> <p>③炭素鋼配管の腐食（流れ加速型腐食）については、今後の実測データを反映した耐震安全性評価を実施する。なお、設備対策を行った場合は、その内容も反映した耐震安全性評価を実施する。</p>	<p>①補足説明資料（低サイクル疲労） p.15,18,21</p> <p>②別途、補足説明資料（中性子照射脆化）に反映し、提出する。</p> <p>③別途、補足説明資料（耐震安全性評価）に反映し、提出する。</p>
2	共通		本冊	運転経験・最新 知見				<p>【パワポ5頁、6頁】国内外の新たな運転経験及び最新知見の反映について、申請書と説明資料において差異があるので、最新の情報を本冊に記載すること。</p>	<p>補足説明資料の内容を適正化するとともに、補正時に高経年化技術評価書（本冊）に反映する。</p>	<p>補足説明資料（共通事項） p.11</p>